

TAKKEN

2024

# スキマ時間で宅建合格

Web講座

講義録

1

権利関係

れっく LEC 東京リーガルマインド



0 002021 240359

TU24035

## 権利関係 目次

回数	講義内容	該当ページ
1	ガイダンス、契約の成立	1～3
2	詐欺、強迫	4～7
3	虚偽表示、錯誤	8～12
4	心裡留保、公序良俗に反する契約	13～16
5	問題解説講義①	17～24
6	制限行為能力者	25～30
7	代理制度とは～代理権の発生・消滅	31～33
8	代理権の発生・消滅～復代理	34～40
9	問題解説講義②	41～50
10	債務不履行とは、履行不能・履行遅滞・同時履行の抗弁権	51～54
11	損害賠償請求、金銭債務	55～57
12	契約の解除	58～60
13	手付解除	61～63
14	問題解説講義③	64～71
15	危険負担、契約不適合責任（1）	72～74
16	契約不適合責任（2）	75～78
17	問題解説講義④	79～88
18	時効制度とは、取得時効	89～91
19	消滅時効～時効の援用・放棄等	92～95
20	弁済	96～99
21	問題解説講義⑤	100～109
22	登記の仕組み、表示に関する登記	110～113
23	権利に関する登記、登記の手続き	114～117
24	問題解説講義⑥	118～127
25	所有権の移転時期、対抗問題	128～130
26	取消しと登記、解除と登記	131～132
27	取得時効と登記、相続と登記	133～136
28	問題解説講義⑦	137～144
29	相続とは、相続人、相続分	145～147
30	相続の承認・放棄、遺言・遺留分、配偶者居住権	148～152
31	問題解説講義⑧	153～162
32	抵当権とは、抵当権の成立・目的物、抵当権の性質	163～165
33	抵当権の効力、第三者との関係(第三取得者との関係)	166～170
34	第三者との関係(抵当権に後れる賃借人の地位)、抵当権の処分、根抵当権	171～174
35	問題解説講義⑨	175～184

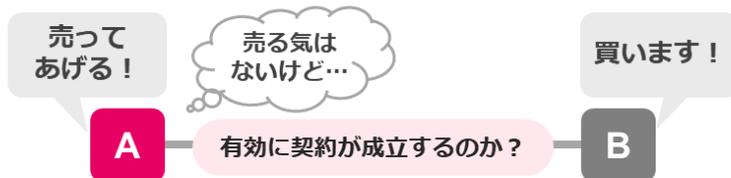
## 権利 第4回

### 意思表示

#### 心裡留保

##### 心裡留保とは

- **真意（本心）でないことを自分自身で知りながら意思表示**をすること



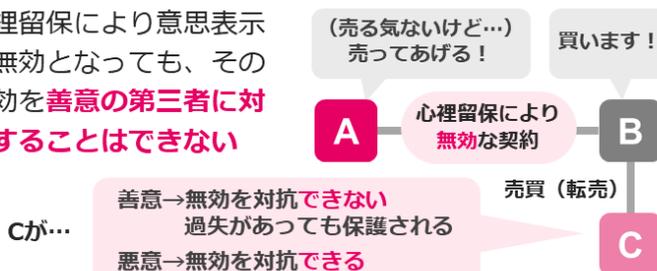
##### 心裡留保による意思表示

- 原則として**有効**
- ただし、相手方が表意者の真意ではないことを知り、又は知ることができたとき（**悪意又は善意有過失**のとき）は、その契約は**無効**



##### 心裡留保と第三者

- 心裡留保により意思表示が無効となっても、その無効を**善意の第三者に対抗することはできない**



## 合格ステップ 6

## 心裡留保

ランク

B

- (1) 表意者がその真意ではないことを知って意思表示をしたときであっても、原則として有効である。
- (2) ただし、相手方が表意者の真意ではないことを知り、又は知ることができたときは、心裡留保による意思表示は、無効となる。
- (3) (2)の無効は、善意の第三者に対抗することはできない。

## 公序良俗に反する契約

## 契約自由の原則

- 契約の内容を当事者が自由に決められること

契約を結ぶときに、どんな物を買うか、  
値段をいくらに設定するか 等

次の場合は契約が成立するか？

賭けマージャンの返済に充てるために  
所有している土地を引き渡す

反社会性を帯びた内容の契約

||

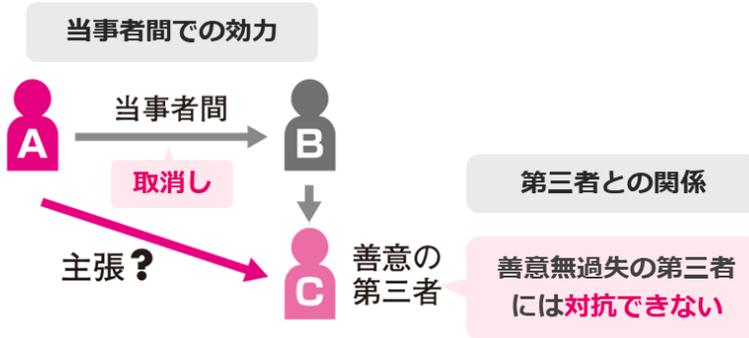
公序良俗（公の秩序又は善良の風俗）に反する契約

無効

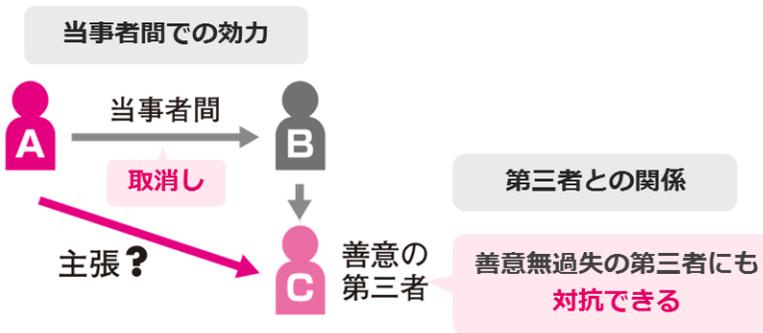
善意の第三者にも対抗できる

## 意思表示のポイント まとめ

### 【詐欺】



### 【強迫】



### 【虚偽表示】

